

令和2年3月25日

えりも地域ゼニガタアザラシ保護管理協議会  
構成機関・団体 各位

えりも地域ゼニガタアザラシ保護管理協議会  
会長 桜井 泰憲

令和元年度第3回えりも地域ゼニガタアザラシ保護管理協議会における書面会議結果について

平素からえりも地域ゼニガタアザラシの保護管理に当たり多大なるご協力を頂き感謝申し上げます。

えりも地域ゼニガタアザラシ個体群の管理は、えりも地域ゼニガタアザラシ特定希少鳥獣管理計画に基づき毎年度実施計画を策定し、各種事業を実施しているところです。本来であれば令和2年3月5日開催の令和元年度第3回協議会において、管理計画（第2期）の確認及び次年度の事業実施計画について協議を行う予定でしたが、当日全道的な荒天のため中止を余儀なくされました。

このため、第3回協議会の開催に代えては関係機関・団体等に対し個別に資料の送付と意見聴取を行う「書面会議」へと変更させていただき、頂いたご意見を協議会事務局において別紙のとおりとりまとめたところ、管理計画（第2期）の確認及び次年度の事業実施計画について、特段の反対意見もなく、承諾を得られましたので、略儀ではありますが本書面をもってお知らせいたします。

なお、次年度以降もえりも地域ゼニガタアザラシ保護管理協議会は開催運営されますので、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

連絡先

環境省北海道地方環境事務所野生生物課

担当：太田 貴智

TEL 011-299-1954 Fax 011-736-1234

e-mail TAKATOSHI\_OTA@env.go.jp

## (別紙) 書面会議において出された意見について

### ●意見表明者1名(すべて、令和2年度事業実施計画に関するご意見)

#### ●主な意見内容

##### ①生息状況について

- ・最大上陸個体数は増加傾向とあるが、図15(p16)のグラフではこの7年間は減少傾向にある。
- ・推定生息数の「概ね1,000頭程度」についても、近年の減少傾向が反映されていない。

##### ②年間の捕獲頭数目安について

- ・近年の減少傾向を踏まえ、捕獲頭数を算出すべき。
- ・科学的根拠が簡素化されすぎており、書面からは判断が難しい。

##### ③費用対効果について

- ・費用対効果について今後の検証が必要(ただし、効果が少なくても必要なことはやるべき)。
- ・多面的機能(価値)という視点での検証が不可欠。

#### ⇒意見に対する事務局回答

生息数の推定については、現在も作業部会や科学委員会で随時ご議論いただいているところで、推定にあたっては、センサス時にアザラシが上陸している割合や、センサスの見落とし率等、精査が必要な事項が多くあり、現在のところ推定生息数は「概ね1,000頭程度」というおおよその数字を示すかたちとなっております。ただし、図26(p33)にお示ししている個体群動態においては、毎年の最大上陸個体数の推移もシミュレーションの中に反映させており、年間の捕獲頭数目安については、このシミュレーションをもとに第1期管理計画発足時(平成28年春時点)から8割の生息数となるよう算出してしております。今後は、近年の動向も踏まえたより正確な推定生息数をお示しできるよう引き続き作業部会や科学委員会で議論を重ねるとともに、評価結果がより分かりやすい表示となるようこころがけます。また、費用対効果の検証につきましても今後の検討とさせていただきます。

以上